

《国道13号新庄金山道路》

しんじょうかねやま
新庄金山道路の工事状況について
～転石発生量の増加により開通時期を見直し～

- 国道13号新庄金山道路（延長5.8km）は、令和7年度の開通を目指し、大規模切土工事や橋梁上部工工事、トンネル工事など、全面的に工事を進めているところです。
- 大規模切土においては今年度の施工が終了したところですが、転石の発生量は今年度までの施工終了時点で全体の5%程度となり、当初想定の1%を大きく上回る発生状況となっております。
- これまで「転石除去」作業の効率化を図るべく施工方法の検討を進めてきましたが、最も効率的な施工方法であっても当初想定の実績は確保できず、今年度までの施工状況から今後も同程度の転石が見込まれるため、令和7年度に予定していた開通時期の見直しが必要と判断したところです。
- 引き続き施工効率の改善に努めますが、見直し後の開通時期については、今後の切土箇所の進捗状況を踏まえて工程を精査し、改めてお知らせいたします。

■開通時期の見直し

《現在》 令和7年度開通予定 ⇒ 《見直し後》 開通時期については、大規模切土の進捗状況を踏まえて工程を精査

記者発表先：山形県政記者クラブ、新庄新聞放送記者会、山形建設業界専門紙

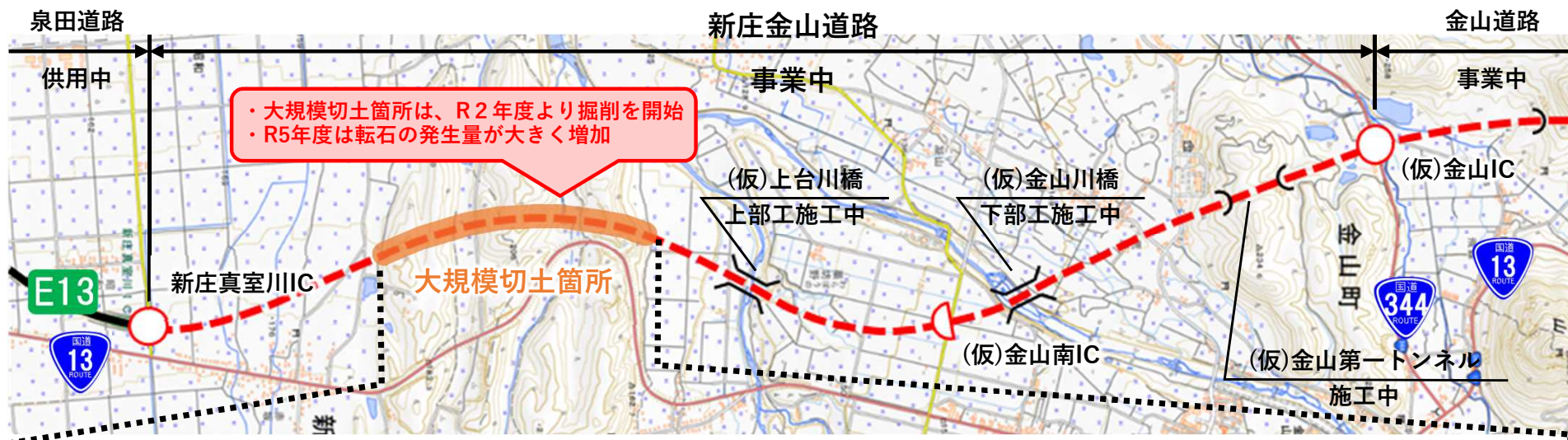
問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所
副所長（道路担当） 佐藤 正（内線205）

電話：023-688-8421（代表）

新庄金山道路の工事状況等

▼路線図



・大規模切土箇所は、R2年度より掘削を開始
 ・R5年度は転石の発生量が大きく増加

▼大規模切土箇所 縦断図



R5年度まで：約40万m³ (R5年度まで転石は約2万m³：約5%)
 ↓
 R6年度以降：約50万m³ (R6年度以降の転石はR5年度と同程度を想定)

～凡例～
 ■：R4まで施工箇所
 ■：R5施工箇所
 ■：R6以降施工箇所



振動式分別機施工状況

BH掘削状況

転石仮置き状況

土質改良施工状況

(参考) 転石除去作業における施工効率向上策

令和4年度までの施工（標準の施工効率を確保、施工パーティー数も必要分を確保）



掘削(転石1%程度)



土質改良



運搬



盛土

⇒ 転石は1%程度だったことから、土質改良機のフィルターに転石が残った場合でも、人力除去等に対応が可能であり、標準の施工効率が確保できていた。

令和5年度の施工計画（転石除去作業を効率的に行う施工方法の検討を実施）

掘削(転石5%程度)



土質改良

運搬

盛土



転石除去



スケルトンバケットバックホウ



振動式分別機

「転石除去」にかかる施工効率向上策

- **スケルトンバケットバックホウ投入**：300mm以上の転石を除去
- **振動式分別機投入**：300mm～100mm間の転石を除去
⇒ 令和4年度までに実施していた転石の人力除去よりも転石除去にかかる施工効率は向上したが、それでも転石が多く発生しているため、**昨年度までの施工効率の確保は困難**